科目名称	地域に暮らす人々と健康	学年学期	単位数	時間数
		1 学年 前期	1	30
担当教員	大北米香	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

看護の対象者となる人々が地域でどのような暮らしを送っているか、暮らしと健康の関係について生活者の視点から理解する。

【2】 学習目標

1. 自分とクラスメイトの暮らしから、暮らしに影響する要因について考えることができる。
2. 暮らしの多様性を述べることができる。
3. 地域はさまざまな特徴をもち、暮らしに影響していることを述べることができる。
4. 学校の所在する地域に目を向けて、地域の特性を述べることができる。
5. 健康障害が生じても、安心して地域で暮らし続けるための課題を考えることができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
■ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
■ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	ガイダンス 看護として人の暮らしをみる意義	講義
2	人の暮らしについて考える	グループ演習
3	暮らしと地域	講義
4	学校の所在する地域を理解する演習(1)	グループ演習
5	学校の所在する地域を理解する演習(2)	グループ演習
6	学校の所在する地域を理解する演習(3)	グループ演習
7	学校の所在する地域を理解する演習(4)	フィールドワーク
8	学校の所在する地域を理解する演習(5)	グループ演習
9	学校の所在する地域を理解する演習(6)	グループ演習
10	学校の所在する地域を理解する演習(7)	グループ報告会
11	暮らしと地域演習(1)	グループ演習
12	暮らしと地域演習(2)	グループ演習
13	暮らしと地域演習(3)	グループ演習
14	暮らしと地域演習(4)	グループ報告会
15	筆記試験・まとめ	試験

【5】 評価方法

筆記試験 40%，個人レポート 30%，グループワーク・プレゼンテーション 30%で総合的に評価する。

【6】 教科書

河原加代子：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤（第 7 版） 医学書院 2026（電子版）

【7】 参考書

担当教員から随時紹介する。

【8】 受講生へのメッセージ

私達が住んでいる愛媛県、学校周辺地域について関心を持ち、データやフィールドワークを通して地域の特性が人々の暮らしや健康にどのように影響しているか、一緒に学びましょう。